

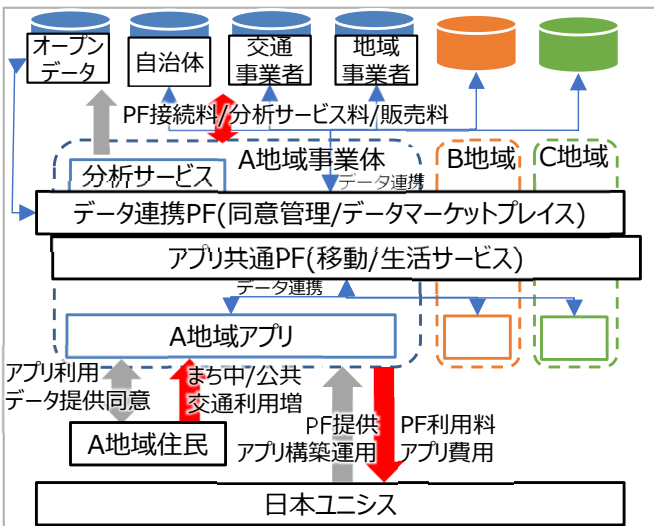
「地域や業種をまたがるモビリティデータ利活用推進事業」実証事業概要

利用者のデータ提供受容性と持続的ビジネスモデルの検証

実施主体：日本ユニシス株式会社

地域アプリ等で収集する移動データの他者提供可能性を調査する実証実験を行い、利用者のデータ提供受容性を検証するとともに、地域住民や地域社会に対する付加価値ユースケースシナリオを検討することで、移動データ利活用実用化に向けた課題と持続的なビジネスモデルの検証を行う。

想定ビジネスモデル

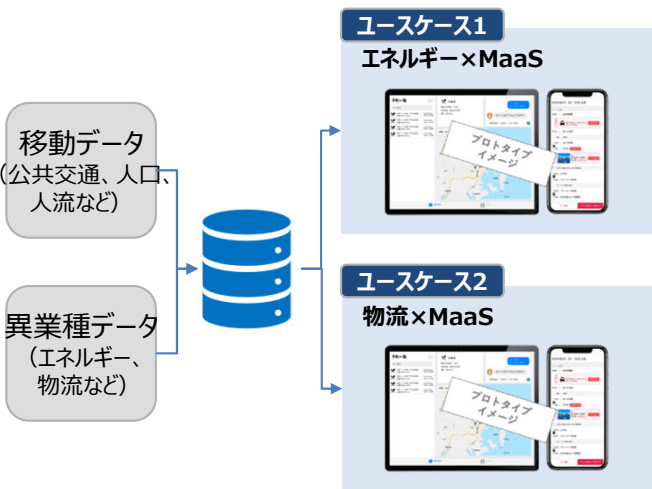


MaaSの高度化に向けた異業種連携ユースケースの確立

実施主体：株式会社MaaS Tech Japan

モビリティデータを活用した異業種連携ユースケースの整理・具体化とペーパープロトタイプ構築を行い、データ利活用による受容性や実用性について検証するとともに、データ連携基盤導入・サービス構築に必要なアクションプランの検討を行う。

ユースケース構築例



上記ユースケースについて、企業・自治体ヒアリングにより実現性・受容性検証を行う

SNSデータを活用した利用者目線での地域の課題・サービス効果の見える化

実施主体：株式会社SEEDホールディングス

地域の統計データ、車両コネクテッドデータに目的地別のロコミデータを組み込んだ外部データ基盤を活用し、地域MaaSサービス利用データを掛け合わせて分析を実施。利用者目線から地域の課題やMaaSサービスの課題を可視化し、既存のMaaSサービスの改善に資する提案とその施策の有効性を検証する。

データ利活用イメージ

